木更津工業高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	工業英語演習

科目基礎情報

科目番号	0080	科目区分	専門 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	機械工学科	対象学年	4
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	江崎秀司・樋口晶彦著『工学を志す人の工業英語』研究社出版、1995年、1700円 (+ 税)		
担当教員	小川 登志男		

到達目標

1. 工業英語特有の表現方法を学び、英文和訳ができる。
2. 工業英語における受動態と能動態の使い分け、無生物主語の活用 (擬人法)、助動詞の使い分け等を学び、工業英語の基礎作文ができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	500語以上の専門的な英単語およびその意味を覚えることができる	250語以上の専門的な英単語およびその意味を覚えることができる	専門的な英単語およびその意味を覚えることができない
評価項目2	技術論文の和訳ができる	工業英文の和訳ができる	工業英文の和訳ができない
評価項目3	工業英語特有の表現を用いて、レポートや報告書の作成ができる	工業英語の基礎作文ができる	工業英語の基礎作文ができない

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	1. 工業英語特有の表現方法について学習する。 2. 専門的な英単語を習得する。
授業の進め方・方法	1. 授業は講義形式で行う。 2. 隔週で単語の小テストを行う。 3. 授業90分間に対して90分以上の復習を教科書や配布資料を活用して行う。
注意点	隔週で単語の小テストを行うので、必ず予習・復習を行うこと。工業英語では、その専門分野特有の単語を知っておかないと、文法が分かっていても英文が理解できないことがあるため、毎日少しずつ単語を覚える努力をして単語力のアップに繋げて欲しい。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	工業英語とは	スキーマ理論と工業英語読解のプロセスについて理解できる
		2週	推定表現	推定表現について理解できる
		3週	時制	時制について理解できる
		4週	冠詞	冠詞について理解できる
		5週	接続詞	接続詞について理解できる
		6週	工業英文の和訳	工業英文を和訳することができる
		7週	工業英文の和訳に関する解説	和訳の添削および解説
		8週	後期中間試験	試験実施
	4thQ	9週	答案返却	答案の返却および解説
		10週	受動態、能動態および擬人法	受動態、能動態および擬人法について理解できる
		11週	助動詞	助動詞について理解できる
		12週	命令文および分詞構文	命令文および分詞構文について理解できる
		13週	工業英語基礎作文	基礎的な工業英文を書くことができる
		14週	工業英語基礎作文に関する解説	作文の添削および解説
		15週	後期定期試験	試験実施
		16週	答案返却	答案の返却および解説

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	小テスト	課題	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	0	0	35	15	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	50	0	0	0	0	35	15	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0	0